

金曜 ライフ・楽しむ

シニア世代を応援するページです

わたし色

生活情報誌「悠悠と。」

編集長・真鍋康利さん



信頼関係 約束を守ってこそ

「指切りげんまん、うそついたら針千本飲ます」と子供たちが唱えるのを、最近あまり聞かなくなりましたね。

これは互いの小指を絡め合わせて誓う、約束を必ず守るという証し。指切りは遊女が客に愛情の不変を誓うし、小指を切断したことに由来し、げんまんは「拳万」と書き、約束を破ったら握りこぶしで1万回殴るという制裁の意味だそうです。さらに針を千本も飲ませる罰もつきまです。いずれもとても痛そう。破ったときには、これほど厳しい制裁を受ける覚悟が必要で、「痛いのが嫌なら約束は守れ」との戒めです。



約束とはある物事につき将来にわたって取りきめることで、「必ずこうします」「次は頑張ります」とこれからのありようを誓うものです。将来のことだから、希望や努力目標も入ります。約束は守りたいが、何が起るかわからず、知らずも事情が変わり遂行不能なこともあります。そんな時、社会や他人のせいにして逃げ出したいのもやまやまですが、言い訳無用。できる限りの対応策を講じ、誠意を尽くして許しを請うだけです。

また、同時に複数の約束を

してしまうこともあります。あちら立てればこちらが立たず、どちらかに泣いてももうしかありません。往々にして弱い相手との約束を反故にしてしまいがちなのがつらいところだと思います。



先日、ある人に約束破りの直撃を受け、怒髪天を衝きました。虫けらのような扱いというか、なめられた気がして、「許さんぞー」と復讐を誓ったものです。

しかし、時間と共に爆発的な怒りが鎮まったとき、ハタと考えこみました。自分は約束を破ったことはないか。一生懸命やっている自分は悪く

ない、時代が悪い、世間が悪い、と言いつつ誰かの期待を裏切ったことはないか。絶対にない、とは言いきれない、よくな気が少なくなってききました。

お互いが相手を認め、約束を守り、信頼し合うことで、世の中は成り立ちます。そこに強弱や大小は関係ありません。思うようにいかないこともあるかもしれませんが、どんな小さなことでも、約束は守りたい、人との信頼関係を築き続けていきたいものです。小さくとも弱くとも、それが人としての最低限の務めだと思ふ今日この頃です。

ある方の自戒六カ条に、①怠けるな ②怒るな ③威張るな ④焦るな ⑤腐るな ⑥おごるな、とありました。私もまねて、これを肝に銘じ、実践していくことを約束します。ただし、現状、いずれも自信はございません。